

## 公開実用 昭和60-188665

⑮ 日本国特許庁(JP)

⑯ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-188665

⑭ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和60年(1985)12月13日

B 60 R 13/00  
G 09 F 3/02  
// B 32 B 27/00  
B 41 M 1/30

7443-3D  
B-7170-5C  
7112-4F  
6771-2H

審査請求 未請求 (全 頁)

⑰ 考案の名称 自動車用内装品

⑱ 実 願 昭59-77614

⑲ 出 願 昭59(1984)5月26日

⑳ 考 案 者 稲 葉 和 男 富士市青島119番地の22 日本プラスト株式会社内  
㉑ 出 願 人 日本プラスト株式会社 富士市青島119番地の22  
㉒ 代 理 人 弁理士 岩瀬 真治

## 明 細 書

### 1. 考案の名称 自動車用内装品

### 2. 実用新案登録請求の範囲

1 塩化ビニールなどの軟質合成樹脂で成形されて表面の少なくとも1部分にシボ加工が施された自動車用内装品において、該内装品のシボ面の印刷エリアに表面が平坦な高粘度インキまたはニス  
の基礎部を設け、該基礎部の上に文字、模様、図柄などの少なくとも1つからなる印刷表示部を設けることを特徴とする自動車用内装品。

2 基礎部は、印刷表示部とほぼ同じ平面形状に設けている実用新案登録請求の範囲第1項記載の自動車用内装品。

### 3. 考案の詳細な説明

#### 産業上の利用分野

この考案はホーンパッド、インストルメントパネル、グローブボックスリッド、コンソールなどの自動車用内装品に係るものである。

#### 従来の技術

従来の自動車用内装品のシボ面に印刷表示部を

(1)

設けたものとしては例えば実公昭58-22837号公報記載のものがある。

しかしながら、このような従来の自動車用内装品のシボ面に設けた印刷表示部は通常インキによる1回の印刷を施したものであるから、印刷したインキの大部分がシボ面の凹凸のうちの凹部を埋めるのに使われてしまうためにシボ面の凹凸のうちの凸部ではインキ塗膜が極端に薄くなり、印刷表示部の外観、耐熱性、耐摩耗性などが悪くなるし、印刷表示部の鮮明さが悪くなるという欠点がある。

#### 考案が解決しようとする問題点

この考案は従来の自動車用内装品のシボ面に設けた印刷表示部が有する前記の欠点を解消し、自動車内装品のシボ面に設けた印刷表示部の外観、耐熱性、耐摩耗性などを向上することや印刷表示部を鮮明できれいに表示することなどを目的としたものである。

#### 問題点を解消するための手段

この考案の自動車用内装品は内装品のシボ面の

印刷エリアに表面が平坦な高粘度インキまたはニス  
の基礎部を設けることにより凹凸を有するシボ  
面の印刷個所を平坦にし、このようにして表面を  
平坦にした基礎部の上に通常のインキで文字など  
の印刷表示部を設けるものである。

この考案の自動車用内装品は内装品のシボ面の  
印刷エリアに表面が平坦な基礎部を設け、この基  
礎部の上に印刷表示部を設けるから、印刷表示部  
のインキの厚さがほぼ一定となるために印刷表示  
部の外観、耐熱性、耐摩耗性などが向上するとと  
もに印刷表示部を鮮明できれいに表示する。

なお、基礎部は印刷エリアの全面に設けてもよ  
いが、印刷エリアの全面に設けると高級感を出さ  
せるために設けたシボ面が広く消失してしまうの  
で印刷表示部の印刷表示、例えば「T」の字を印  
刷する個所に「T」字形の基礎部を設けるように  
して基礎部は印刷表示部とほぼ同じ平面形状に設  
けた方がよい。

次にこの考案の自動車用内装品を1実施例につ  
いて図面とともに説明する。

### 実施例

自動車用内装品である塩化ビニール製ホーンパッド1は表面にシボ加工が施されていてシボ面2を有し、裏側には硬質合成樹脂製芯体3を有する。

このホーンパッド1のシボ面の印刷エリア4に表面が平坦なニス基礎部5を設ける。この基礎部5は印刷表示部6の文字とほぼ同じ平面形状、即ち「SSS」と「TURBO」の文字とほぼ同じ形状に設ける。

この印刷エリア4の基礎部5の上に車種などの文字、即ち「SSS」と「TURBO」の文字からなる通常インキの印刷表示部6を設けたホーンパッド1が図示されている。

このホーンパッド1をハンドル本体7に止め具で固着して自動車用ステアリングホイール8として使用する。

この実施例の内装品であるホーンパッド1に基礎部5と印刷表示部6を設ける方法としてはナイロンスクリーンを用いたスクリーン印刷法がよい。ナイロンスクリーンの所定の個所に「SSS」と

(4)

「TURBO」の文字を描いておき、このナイロンスクリーンをホーンパッドのシボ面上にセットしてナイロンスクリーンの上に供給したニスまたは高粘度インキをスキージで押圧滲出し、「SSS」と「TURBO」の文字形状基礎部を設ける。次に同じ文字を描いておいたナイロンスクリーンと通常のインキを用いて同様に印刷を行うことにより表面が平坦な基礎部の上に印刷表示部を設ける。

#### 考案の効果

この考案の自動車用内装品は塩化ビニールなどの軟質合成樹脂で成形されて表面の少なくとも1部分にシボ加工が施された自動車用内装品のシボ面の印刷エリアに表面が平坦な高粘度インキまたはニスの基礎部を設け、この基礎部の上に文字、模様、図柄などの少なくとも1つからなる印刷表示部を設けたから、印刷表示部のインキの厚さが均一化されて、インキが過度に薄い部分がなくなるために印刷表示部の外観、耐熱性、耐摩耗性を向上することができるし、また印刷表示部を鮮明で、きれいに表示することができる。

(5)

4. 図面の簡単な説明

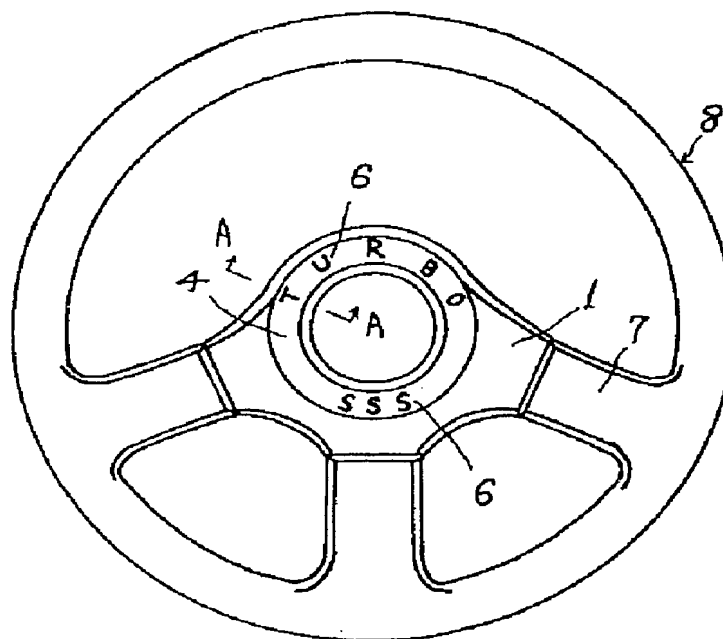
第1図は本考案品を用いたものの平面図、第2図は第1図のA-A拡大断面図である。

1はホーンパッド、2はシボ面、4は印刷エリア、5は基礎部、6は印刷表示部。

実用新案登録出願人 日本プラスト株式会社  
代理人 弁理士 岩 瀬 眞 治

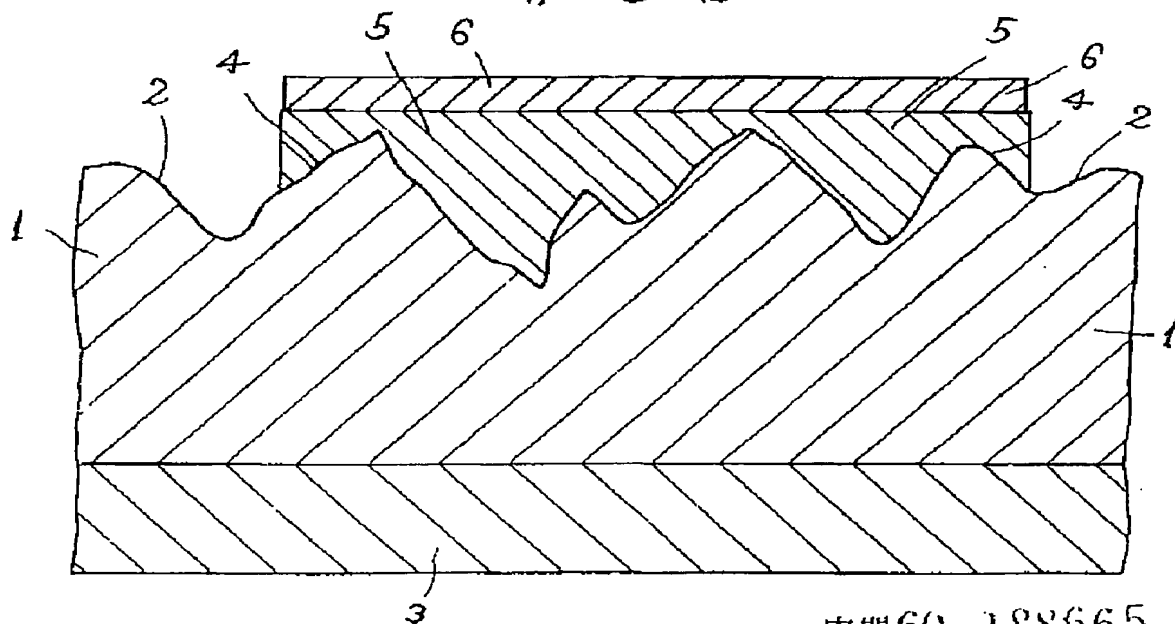
BEST AVAILABLE COPY

第 1 圖



REST AVAILABLE COPY

第 2 圖



実開60-188665

実用新案登録出願人 日本プラスチク株式会社

代理人 弁理士 岩瀬 真治

736